



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名: クロカミキリ

学名: *Spondylis buprestoides*

クロカミキリは、全体がつや消し状の黒色で、筒状の体形、クワガタムシかと思うような大あごが特徴で、カミキリムシとは思わない人も多くいます。夏には明かりにも集まり、針葉樹のある林近くだと普通に見られます。

写真1の個体は、東広島市で採集されたものですが、何か変なところがありますね。

この個体は左中肢の符節が二股に分かれています(写真2)。

よく見ると、内側のものがやや細い以外は長さなども一緒です。また、脛節先端が広がって、通常は1対ある棘が、2対になっています。

このような、肢が分かれたり、多くなっている符節異常は、まれに報告されています。遺伝によるものではなく、傷ついて再生する過程で異常が起きたものでしょう。

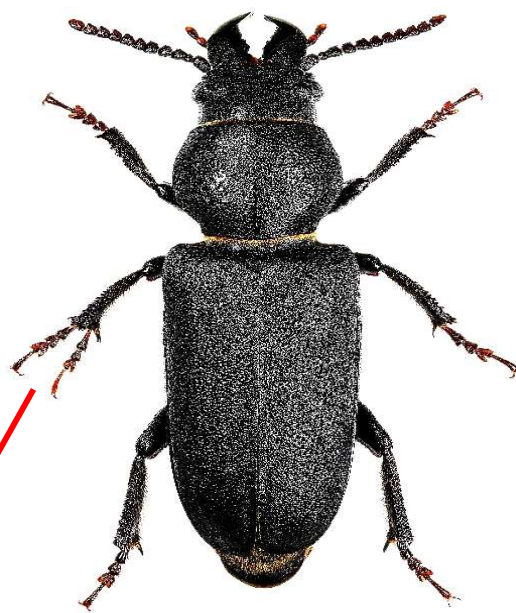


写真1 符節異常のクロカミキリ
(前原和雄氏撮影)



写真2 左中肢符節下面

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

